

各位

上場会社名	株式会社ニチリョク
代表者	代表取締役社長 寺村 公陽
(コード番号)	7578)
問合せ先責任者	常務取締役経営統括本部長 五嶋 美樹
(TEL)	03-6281-8470)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800	370	260	220	25.28
今回修正予想(B)	3,000	216	106	45	3.41
増減額(B-A)	△800	△154	△154	△175	
増減率(%)	△21.1	△41.6	△59.2	△79.5	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	2,624	109	△140	△292	—

修正の理由

2022年3月期通期の個別業績予想につきましては、第2四半期累計期間は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の変異株(デルタ型)による感染爆発に翻弄され、続く第3四半期会計期間は感染者数が落ち着き収束を予感させるとともに、収益も新たな施策の実行や徹底した経費削減の効果により改善傾向にありました。しかしながら、当社最大の収益機会である第4四半期会計期間初頭から新たな変異株(オミクロン型)が大流行していること等の要因により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回発表予想数値を下回る見込みであります。当感染症の影響は、葬祭事業においては、通夜式を自粛し告別式のみを執り行う密葬や直葬を選択するご葬家が増加し、会葬者数が縮小されることで施行単価の下落要因となります。また、霊園事業においては、政府及び各自治体による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されますと、人流が抑制され来園者(見学者)数の減少要因となります。このような厳しい環境下にあるものの、前期実績(2021年3月期)と比較すれば、業績は大幅に改善する見込みであります。今後につきましては、不安定な環境を俯瞰しながら柔軟な諸施策を打ち出すとともに、徹底したコスト管理を行い、着実な収益の増加に努めてまいります。

※その他

2022年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)の開示は、2022年2月10日(木)を予定しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上